



第 69 号

千 町 田

秋の収穫期を迎えて思うこと

代表理事 河津 一行



暑かった夏もようやく終わりをむかえ朝晩に涼しさを感じる事が出来るようになりました。のきの郷では秋の収穫期を迎えて、稲の刈取りに大忙しの毎日が続いています。今年は米価が回復し高値で推移していますが、ここ数年収量が思わしくないので今年もそれを気にしながら収穫しているところ。ハウスの作物では、ぶどうの収穫は終わりとまとは12月まで収穫が続きます。

以前、千町田で『利益の追求』を目標に掲げていることをお伝えし、現在その目標に向かって経費の節減、赤字事業の見直しを進めていますが、最近経営に必要なのはそれだけではないようにも思っています。



それは、やはり農業生産法人として作るからには良いものを作りたい。そして消費者の皆様喜んでいただけるものを作りたいとより強く思うようになったことです。農業の最大の欠点は作ったものの値段を生産者側が決められないことであり、良いものを作ったからといって高値で売れるとは限らないことです。だからといって努力を惜しんで納得のいかないものを生産しているようでは失格です。

中間監査開催

8月25日に中間監査会が開催されました。監事、理事、総務部が参加し1月からの事業報告と予算実績報告を行い、内容について質疑応答を行いました。最後に代表監事より誰



が出来ました。最初は力任せに鎌でたたいて刈っている子もいましたが、だんだん慣れてくるとみんな上手にザクッと音を立てて刈り取っていました。



能義小学校 稲刈り体験



9月12日に能義小学校5、6年生による稲刈りの体験授業がありました。前夜に雨が降り空模様が心配されましたが、当日は良いお天気のなか稲刈り





大豆畑の様子

8月末から「つや姫」「にじのきりめき」と刈取りを進めています。今は「きぬむすめ」の刈取りです。のきの郷の乾燥設備と



カントリーエレベータなどJAの施設を利用して乾燥調整作業を進めます。大豆は大きく成長しています。今年は例年より株間を広く取って作付けしています。

キャベツの定植が終わりました。



今季は加工用の出荷をやめることで作付面積を減らしています。ハウスの中では、ぶどうの今季の収穫出荷が無事終わりました。皆様にお買い上げいただきありがとうございます。進んでいます。いちごは定植が終わる12月には収穫が始まります。



職場体験受入

9月17日から19日の3日間安来三中3年生2名の職場体験を受け入れました。体験の主な内容は、収穫真っ盛りのぶどうの調整でした。2人も熱心に作業を進めることが出来ました。



研修生紹介

10月1日より2か月間安来市特定地域づくり事業協同組合から研修生を受け入れますので紹介します。

佐伯 賢悟



2か月間 精一杯努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



お知らせ

令和6年産なたね油の予約を開始します。

年末年始のご挨拶に、また遠くにおられる方に地元の味のお届け物としてなごげひこ活用ください。

11月より順次お引き渡しの予定です。



お梅やみ申し上げます

赤崎町 國重光美 様



ちよっこし聞いて

まだまだ夏の暑さを感じることはありませんが夕方の日が沈むのがずいぶん早くなり朝晩の涼しさにやっばり秋なんだと感じさせられます。秋の夕暮れのもの悲しさを感じつつ早く柿の実が売れないかなとかなんか暖かいものが食べたいなんて思っちゃいます。(笑)

